令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01 商工費	01 商工総務費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム					
小事業	01	地域産業資源活用事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	魅力がありながら知名度やＰＲが十分でなく埋もれている産品があり、知ってもらう場がない。 地域の事業者には新たな食品の開発に際し競争力を持つためのパッケージ、ＰＲのノウハウが不足しており、コストがかけられないことが問題である。
対　象	【特産品販売促進】近隣住民・観光客 【食品ブランド事業補助金】事業者
目　的	【特産品販売促進】市産品の魅力発信による誘客とシビックプライドの醸成 【食品ブランド事業補助金】事業者の商品開発支援と開発商品による市の知名度向上
概　要	・市産品の知名度向上と販売促進を目的とした各出展事業の実施 ・事業者への開発支援による新たな食品ブランドの創造 ・関係自治体との協力による相互の特産品ＰＲ及び販路拡大 ・「健康」に特化していく

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	4,875	4,413	4,389	4,268	8,498
	決算額	3,709	2,389	4,000	4,266	4,321
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		606 / 202				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
物産展等出展回数	目標値				10	10
	実績値				13	6

アウトカム

ＫＰＩ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
食品ブランド事業補助金の交付対象物品の販売促進計画達成率	目標値					100
	実績値					58.5

実績

実　績	食品ブランド開発補助金　1件 イベント時関係産品取扱　6件（FC岐阜、泉佐野市、金山総合駅3回（6/7、9/25，1/17）、豊中市出展（11/9.10）
効　果	食品ブランド補助金により新規開発商品の費用を一部補助することで、事業者の新商品開発のハードルを下げる。 美濃加茂市産品を出展時にＰＲすることで、美濃加茂市産品とともに美濃加茂市を市外の方に知ってもらえる。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	定例化している泉佐野市全国物産フェア・金山総合駅出展・ＦＣ岐阜ホームタウンデー・市民まつり以外の出展機会を掴んでいく必要がある。 令和６年度は、上記に加えて岐阜トーキョー出展を行った。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	令和６年度から食品ブランド補助金交付を受けた事業者の販売促進計画の実施状況を確認することとしたが、１００％達成できていたのは１件のみとなった。悪いものでは、０％というものもあった。 食品ブランド補助金により販売促進効果があるのかは、非常に疑問をもつことなった。
実績からR07年度の事業の方向性	出展機会を掴み、美濃加茂市及び美濃加茂市産品のＰＲを強化していく。 食品ブランド補助金については、効果測定のためにも実施状況調査を繰り返し行い、事業者の努力を促していく。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01	商工費	04	観光費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム					
小事業	02	市内観光推進事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	観光は市の経済的な活性化に寄与し、雇用の創出、地域イメージ向上につながる。市独自の自然環境、歴史的な名所、文化的なイベントなど、観光資源が存在するがこれらを上手く活用し、観光地としての魅力を高めていかないと観光客を呼び込むことが出来ない。
対　象	【観光イベント】市民・観光客 【市内への誘客】観光客・事業者 【観光資材作成】観光客
目　的	【観光イベント】大型観光イベントの実施による誘客と非日常体験の提供 （おん祭ＭＩＮＯＫＡＭＯ夏の陣・市民花火大会　盆踊り大会） （おん祭ＭＩＮＯＫＡＭＯ秋の陣・太田宿中山道まつり） 【市内への誘客】地域観光消費の拡充 【観光資材作成】市内観光資源の魅力発信と誘客ＰＲ
概　要	・美濃加茂市観光協会など観光関係団体への補助金交付による活動支援 ・市を代表するイベントである「おん祭ＭＩＮＯＫＡＭＯ」の開催補助 ・観光パンフレット等の作成及び配布による観光ＰＲの推進

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,998	12,886	22,208	18,176	13,278
	決算額	2,706	2,514	20,909	17,189	12,956
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		2,038 / 605				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光物販等ＰＲ活動数	目標値	3	3	5	5	5
	実績値	2	3	4	8	6

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光入込客数	目標値	750,000	1,000,000	1,000,000	1,400,000	1,400,000
	実績値	644,864	1,107,305	1,347,664	1,396,757	1,399,213

実績

実　績	盆踊り保存会等観光団体補助金交付 7件 おん祭の運営支援 CHARI-KAMOの運営 観光協会の支援 観光物販等PR活動　6回 おん祭盆踊りの復活
効　果	既存の観光推進団体を支援し、市内の観光コンテンツを維持していく。新たな観光推進団体の支援を行い、観光コンテンツの充実を図ったことで、おん祭盆踊りの復活ができた。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	３月に急遽ふるさと納税等も含めた岐阜トーキョー出展を行ったため、目標を上回り出展ができた。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	令和６年の観光客は全体的には横ばいとなった。その中でも、リバーポートパークの観光客は、約27,000人と大きく増加した。４月～６月にかけて大きく増加しており、コロナ禍の影響から完全に脱したと考えられる。
実績からR07年度の事業の方向性	観光推進団体の支援をより一層強化し、特に第６次総合計画後期基本計画の達成に向けて美濃太田駅以南の木曽川流域の観光コンテンツの充実を図る。 引き続き、R6年度実施したイベントを実施予定だが、R6年9月に開催を予定していた「おん祭MINOKAMO夏の陣」は天候により実施出来なかったため、R7年度は10月に変更し実施することで中止を避ける。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01	商工費	04	観光費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム					
小事業	03	広域圏観光推進事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	広域圏内には異なる特産品、文化、自然環境といった様々な観光資源が存在する。観光客は広範囲の観光地を訪れたい傾向があるが、単一の地域だけでは限られた観光需要しか獲得できない。
対　象	市及び近隣を訪れる観光客
目　的	広域連携のスケールメリットを活かした効果的な観光誘客
概　要	・岐阜県観光連盟と連携した効果的な観光ＰＲの実施 ・飛騨木曽川国定公園連絡協議会による河川流域自治体との連携事業 ・日本ライン水上安全協議会による河川観光環境の整備 ・ぎふロケツーリズム協議会によるロケツーリズムの促進

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	381	381	381	381	381
	決算額	354	332	381	381	331
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		544 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
共同事業参加数	目標値	1	2	2	2	2
	実績値	1	2	3	5	4

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光入込客数	目標値	750,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,400,000
	実績値	644,864	1,107,305	1,347,664	1,396,757	1,399,213

実績

実　績	泉佐野市全国物産フェア（9/7） 金山総合駅出展（6/7、9/25、1/17） 計27万円の売り上げ
効　果	各市町村の観光資源を共同で出展することで、より効果的に県内外に市産品を広く売り出すことができた。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	金山総合駅の出展は追加で２回行ったため、達成できた。できる限り広く共同事業に参加することが必要と考える。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	令和６年の観光客は全体的には横ばいとなった。その中でも、リバーポートパークの観光客は、約27,000人と大きく増加した。４月～６月にかけて大きく増加しており、コロナ禍の影響から完全に脱したと考えられる。
実績からR07年度の事業の方向性	東海圏だけにとどまらず、関西圏への共同での出展機会を獲得していくことで、ふるさと納税も含めて強くＰＲしていく。 R6年度に出展したイベントに加えR7年度は次のイベントに出展する。 ・５月１０日　緑化フェア ・６月６日　郡上踊りin京都 ・１１月金山総合駅　「IKO－MAI」

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01	商工費	04	観光費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム					
小事業	04	中山道観光推進事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	中山道太田宿は、旧中山道の宿場町として美濃加茂市を代表する観光スポットであると同時におん祭の会場や市の観光の入口としての役割を担っている。そのため、市の魅力的な観光資源として活用する必要がある。
対　象	【太田宿中山道会館運営】中山道太田宿を訪れる観光客・地域住民 【中山道観光資源整備】中山道太田宿を訪れる観光客 【中山道太田宿建造物修景補助金】中山道における建造物所有者又はその賃借人
目　的	【太田宿中山道会館運営】 中山道太田宿を訪れる観光客に対する旅の拠点提供と地域住民のコミュニティ促進 【中山道観光資源整備】宿場観光の魅力増進による観光誘客 【中山道太田宿建造物修景補助金】街並み保存及び景観形成による観光満足度の促進
概　要	・指定管理による太田宿中山道会館の運営 ・太田宿中山道会館の維持補修等整備 ・旧本陣庭園の整備及び維持管理 ・中山道建造物の修景に関する事業 ・中山道関連団体への参加による宿場町の連携推進

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	30,422	23,619	22,546	27,890	36,000
	決算額	20,307	17,876	22,546	24,444	34,089
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		917 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
中山道会館イベント開催数（広報掲載分）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	0	0	4	11	12

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
中山道会館来館者数（観光入込者数のうち）（１月～１２月）	目標値	50,000	60,000	60,000	60,000	85,000
	実績値	53,933	63,182	63,503	85,293	71,452

実績

実　績	中山道祭り（10/20）、盆踊り大会（8/25・26）、太田宿マルシェ（12回）、太田宿イワチドリ展、太田宿セッコク展、文化講演会、太田宿ウチョウラン展、太田宿ユキワリソウ展、中山道太田宿「早春盆梅盆栽展」、春のお茶会、太田宿ルーシーダットンを開催
効　果	中山道太田宿の観光客を地域住民と中山道会館を中心に迎え入れ、中山道太田宿の観光付加価値を高めることできる。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	前指定管理者が実施していたイベントを引継ぎ、かつ、新たなイベント等にも取り組みはじめており、前向きで地道な活動による効果と考える。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	指定管理者が変わり、営業形態が変わったことにより、客層が変わったと考える。来館者は減っているが、客単価・利益は上がっている。これは、モーニングを実施していることと、売店の商品のラインナップを変えたことによる効果だと考える。
実績からR07年度の事業の方向性	中山道太田宿を維持し、中山道会館が地元から愛されるように指定管理者と取り組んでいく。R7年度は指定管理者と連携してSNSなどの情報発信を強化し、指定管理者が打ち出した事業等を積極的に情報発信等で支援することに注力する。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01	商工費	04	観光費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム					
小事業	05	観光施設整備事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	観光施設の整備は観光客の受け入れと利便性の向上のために不可欠である。観光客を迎え入れる環境整備を怠ると、観光客は快適に旅行を楽しむことが出来ず、資源を十分に体験することが出来ない。
対　象	【観光案内所の運営】観光客 【観光施設整備】観光客
目　的	【観光案内所の運営】観光客へのホスピタリティ充実と情報提供による観光客の満足度向上 【観光施設整備】観光案内看板等資材の維持補修、改善による観光客の満足度向上
概　要	・観光案内所や吉田家住宅など観光施設の管理運営 ・観光案内看板等の更新、修繕等維持管理 ・アンテナショップ、観光案内所等の今後の運営方針や法人化の検討

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	5,205	5,080	5,216	5,217	5,380
	決算額	4,636	4,473	5,216	5,178	5,171
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		512 / 202				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光施設のパンフレット補充回数（回）	目標値			12	12	12
	実績値			12	12	12

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光案内所利用者数	目標値	4,800	4,900	3,000	3,500	4,000
	実績値	2,852	3,078	4,541	4,946	4,434

実績

実　績	観光案内所の運営 旧小松屋吉田家住宅の管理 神明水神公園の管理
効　果	市外からの観光客に観光情報を提供し、観光資源を維持することで、周遊性を高める。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	各種観光施設へのパンフレットの消費状況を確認し適宜補充、ＨＰ、ＳＮＳでの情報発信を実施できている。 観光案内所の利用人数を増やすために出来る取組を検討して、R8年度から指標を変更したい。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	コロナ禍明け以前の数値に２年連続で戻ってきており、確実な復調が見られる。リバーポートパークや中山道会館等の関連事業者の努力により、達成されていると考える。
実績からR07年度の事業の方向性	引き続き観光施設の適正な管理を実施する。 インバウンド入込を確保するため観光案内所を「外国人観光案内所」としてＪＮＴＯのカテゴリー認定容認を令和６年度に行ったため、インバウンド推進事業から観光施設事業に一本化し、今後も外国人を意識した施設整備を図っていく。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01 商工費　02 商工振興費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	02	主要な取り組み	「働く」から「働きたい」場所へ				
小事業	01	企業工業振興事業		目標年度	令和6年度		

インプット

事業実施の背景にある課題	企業誘致が行われない場合には地域の経済成長が鈍化し、雇用機会の不足や経済的な停滞が生じる可能性がある。 市内産業の活性化と雇用の確保を図り、地域経済の活性化することが求められている。
対　象	企業誘致等により市内に工場を新設・増設・移設する企業
目　的	・事業所設置奨励金や雇用促進奨励金等の交付。 ・サテライトオフィスの運営促進。 ・多種多様な企業を誘致することで、産業の活性化と雇用の確保を図り、地域経済圏を形成を図る。
概　要	市内に工場等を新設・増設・移設する事業者に対し、固定資産税相当額の奨励金を交付し、市内企業の設備投資の促進及び雇用の確保を図る。

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	259,727	239,559	239,570	273,677	312,287
	決算額	240,847	182,245	217,784	257,814	277,702
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		4,030 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
指定企業における雇用促進奨励金の交付件数	目標値	7	10	11	12	10
	実績値	10	10	9	10	11

アウトカム

ＫＰＩ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
指定企業における雇用促進奨励金の対象者数（常時雇用市内従業員の数）	目標値	65	135	140	145	142
	実績値	137	133	91	111	136

実績

実　績	・事業所設置奨励金　　１９件 ・雇用促進奨励金　　１１件 ・工業用水使用奨励金　　３件 ・サテライトオフィス（２カ所）
効　果	企業誘致等により市内に工場・事業所を新設・増設してもらうことで、新規雇用が創出され地域経済が活性化される。各種奨励金を交付したことで企業誘致に繋がっている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	令和６年度は雇用促進奨励金の交付件数は11件となった。市外に本社や事業所がある企業の場合、交付対象とならなくなる場合もあるが、令和５年度に対象となっていた企業はすべて引き続き交付対象となり、令和６年度から新たに奨励金の対象となった企業が交付対象となったため増加した。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	雇用促進奨励金の対象者数は、令和５年度と比較して増加をしているが、目標値は達成することが出来なかった。 事業者としても、人材の確保に苦慮しており、人手不足が要因としてあると思われる。
実績からR07年度の事業の方向性	固定資産税額が確定していなかったため交付保留となっていた企業について固定資産税額が確定し、令和７年度に保留分を含め交付する見込みとなったことなどから奨励金全体の予算が増加した。引き続き新たな事業所等の新設、増設についての問い合わせがあった際は、市の制度を説明し企業誘致を進める。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工振興費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	02	主要な取り組み	「働く」から「働きたい」場所へ					
小事業	02	中小企業支援事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	中小企業は地域経済の成長に重要な役割を果たしている。 しかし、中小企業は大企業と比較して資本力が限られており、資金繰りに苦慮している現状がある。
対　象	中小企業者
目　的	各種補助金や融資制度により、中小企業の経営の安定化と市内産業の活性化を図る。
概　要	・中小企業が融資を受ける際に必要な保証料や利子に補助金を交付し、企業の円滑な資金調達と安定した事業継続及び設備投資の促進を図る。 ・市内事業者に依頼して行う住宅や事業所のリフォーム工事に補助金を交付し、地域の定住促進及び市外事業者への資金流出の縮小を図る。

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	352,646	244,221	239,338	193,166	189,228
	決算額	180,306	185,952	176,291	190,462	175,613
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		6,045 / 897				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
小規模企業者事業補助金申請件数	目標値	60	60	60	30	30
	実績値	41	60	35	28	27

アウトカム

ＫＰＩ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
商工会議所会員件数（一般会員）	目標値			1,320	1,325	1,330
	実績値			1,346	1,347	1,352

実績

実　績	・小口融資預託金（新規貸付4件） ・中小企業季節短期資金預託金（新規貸付0件） ・中小企業退職金共済掛金補助金137件・71事業所 ・小口融資利子補助金2件 ・小口融資信用保証料補助金5件 ・事業活性化支援利子補助金25件 ・住宅リフォーム助成金105件 ・小規模企業者事業所等整備助成金27件
効　果	各種補助金や融資制度により中小企業の円滑な資金調達と事業継続に繋がっている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	小規模企業者事業補助金申請件数は減少し目標値を達成することが出来なかった。令和3年度は、制度利用後5年経過すると再度補助金申請ができるとした最初の年だったため申請件数が多かったが、令和4年度以降は令和2年度以前と同等の平均的な申請件数となったと考えられる。 また、令和６年１０月からは企業者支援事業補助金のうち事業所等整備補助金事業として商工会議所が実施している。 申請件数から実際の交付件数へと指標が若干変更となるが、数値的には差はほぼなく、名称も変更となったが対象者と目的とすることは変わりがないため引き続き同じ指標として取り扱う。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	商工会議所会員数は、昨年度から増加しており、目標値も達成している。 商業関係者を各種補助金等により支援していることで事業が継続出来ていると考えられる。
実績からR07年度の事業の方向性	中小企業の労働力確保をより効率的・効果的に実施するため、令和７年度からは勤労者労働者支援事業を統合、住宅リフォーム助成・小規模企業者事業所等整備助成を商工会議所が実施する同様の事業への補助に完全移行する。 引き続き各種補助金等を周知するなど中小企業への支援を継続するとともに、若者向けのジョブフェア以外にも将来的な人材確保を図る小中学生向けの新規事業を実施する。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01 商工費	01 商工総務費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	02	主要な取り組み	「働く」から「働きたい」場所へ					
小事業	04	姫Ｂｉｚ戦略事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	起業しようとする人に対する総合支援の場がない。 小規模事業者に対する売上向上、資金調達等の総合的な支援の必要性。 中山道界隈の賑わいを創出する必要性。
対　象	【起業等相談窓口運営】市民・起業希望者・事業者 【起業支援補助金】中山道における起業希望者・空き家所有者
目　的	【起業等相談窓口運営】 女性、若年層、シニアなど幅広い年代からの多様な起業ニーズへの対応による起業者の増加 経営支援や起業に関するセミナー等の開催による事業の円滑化促進 【起業支援補助金】 中山道にエリアを限定した集中的な起業促進及び空き家の解消
概　要	・起業等相談窓口「姫Biz」の運営 ・平成姫街道事業起業支援補助金の交付

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	9,998	13,626	12,462	13,241	13,537
	決算額	9,202	10,180	11,855	11,189	11,018
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		323 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
姫Biz相談延べ件数（実績報告数値）	目標値	400	400	500	500	550
	実績値	542	456	618	517	704

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
姫Bizによる起業件数	目標値	8	8	5	5	5
	実績値	11	16	26	18	17

実績

実　績	・姫Biz相談件数　704件 ・平成姫街道事業起業支援補助金　継続分3件 ・太田宿マルシェ開催　年12回 ・起業家交流会として「姫Biz Cafe」開催年12回（延べ37名参加） ・起業件数17事業者 （飲食7、小売1、サービス9）
効　果	平成２５年の事業開始以来１５０を超える起業を実現している。中山道太田宿においては多数の新規事業者が進出しており、当該事業による成果となっている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	相談件数704件は目標を達成している。年代別では、３０～５０代で約81%を占める。 会員数も126名（うち美濃加茂市56名）増加の累計911名（うち美濃加茂市403名）であり、支援の継続的なニーズを裏付けている。なお、女性の会員数は640名、約70%となっている。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	継続的な支援により、起業家をサポートすることで起業を推進することができている。店舗や事業所を構えない事業者に対しても、コワーキングスペース「こやーね」を紹介するなど起業をサポートができている。 令和５年度に起業する人の件数は１８件と前年より減少したが、美濃加茂市では１４件と多数を占めている。令和６年度に起業する人の件数は１７件、美濃加茂市では８件と前年より減少している。この２年間では起業３５件中２２件が美濃加茂市での起業であり、中山道における起業に貢献していると評価できる。単年度では起業数が変動しやすく分析がしづらいいため令和７年度以降はＫＰＩを単年でなく累計として設定する。
実績からR07年度の事業の方向性	継続的な相談支援を行うとともに、中山道地域における起業を推進する。 中山道太田宿区域内の空き家等を利用して新たな出店者を増加させ、にぎわいのある街並みを形成し、この区域内における魅力向上を推進する。 起業が活発になることで、関係人口の増加や起業希望をより中山道太田宿区域に誘導できる可能性がある。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01 商工費 04 観光費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	01	主要な取り組み	変わる、はじまる、みのかもツーリズム				
小事業	06	インバウンド推進事業		目標年度	令和6年度		

インプット

事業実施の背景にある課題	圏域を代表するようなキラーコンテンツがない中でインバウンドを推進するには、既存の観光資源の魅力を再構築し新たな切り口（市内外国人人材の活用）や誘客コンテンツとなりうる資源（中部国際医療センター）の有効活用する必要がある。
対　象	外国人観光客
目　的	外国人観光客誘致 誘客促進協議会活動によるスケールメリットを活かした外国人旅行者誘致によるインバウンド増加
概　要	・国内外向け地域観光情報ポータルサイトの運用促進 ・観光協会ホームページの多言語化による情報発信強化 ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会による海外セールスコール参加

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	21,989	26,904	9,842	785	427
	決算額	21,889	22,969	9,842	785	200
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		205 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
インバウンド用観光ツール造成数	目標値	10	5	5	5	5
	実績値	17	1	2	3	0

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
外国人宿泊者数（見込）（シティホテルのみ把握できる）	目標値	50	1,000	500	700	1,000
	実績値	300	122	282	187	143

実績

実　績	岐阜健康管理センターの医療ツーリズムに関する連携同意
効　果	医療ツーリズムを実施する医療機関が２か所となった。１０月に実施したリバートゥサミットでも外国人観光客が多数イベントに参加しており、またフェアフィールド・バイ・マリオット・岐阜清流里山公園の外国人宿泊客も、レンタカーを借りて、自分で数十kmを移動して観光等を楽しんでいる方が増えている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	商工観光課が事務局を担っている美濃加茂自然文化活用推進協議会において、外国人観光ガイド育成の取り組みを検討していたが、参加いただける仕組み化のハードルが高く、実現できなかった。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	外国人宿泊者数は統計をとることが難しく、シティホテルのみが情報提供してくれている。外国人観光客が市を選択できる観光資源の発掘・ＰＲ手法の検討が必要と考える。
実績からR07年度の事業の方向性	「外国人」を切り口に統計を取ることは難しい。まずは、外国人が観光しやすい環境整備の検討を行い、インバウンド対策を既存の施策に溶け込ませ実施する。そのため、観光施設の環境整備のため「観光施設整備事業」に統合する。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課

大事業	D1	６つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	06	商工費	01 商工費	01 商工総務費
		目指す姿	活力と”豊かさ”あふれるまち！	ＫＰＩ	①1人当たりの市内総生産額 ②産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合		目標値	①4,100千円 ②50.0%
中事業	02	主要な取り組み	「働く」から「働きたい」場所へ					
小事業	03	勤労者労働者支援事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	都市部には若者にとっては魅力的な職場やキャリアの機会があり人口集中が進んでいる。地方の企業は規模や業種が限られるため、地元企業へ就職する若者は減少している。 若者の都市部への流出は地方の少子高齢化、地方経済の衰退に繋がる恐れがある。
対　象	中小企業、求職者、学生、勤労者及び労働者
目　的	・セミナーや企業説明会の開催。 ・地域企業と若者のマッチング。 ・市民の働く環境と安定した生活基盤を整備を図る。
概　要	・中小企業を対象とした各種セミナー等を開催し、市内企業の採用力等の強化を図る。 ・地域の若者と企業のマッチング機会を創出し、労働力減少社会における地域の雇用確保を支援する。

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	3,306	3,300	3,300	3,300	300
	決算額	3,000	3,300	3,300	3,300	300
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		1,007 / 0				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
ジョブフェア等地域雇用促進機会の提供	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	3	3	3	2

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
新規学卒（高校）求職者の就職率	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	100	100

実績

実　績	みのかもジョブフェア開催2回 参加企業数52社（2回の延べ） 参加者80人
効　果	ジョブフェアを2回開催したことで地元企業と若者等をマッチングするなどして、市内勤労者の確保の支援につながった。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	シティホテル美濃加茂にてみのかもジョブフェアを2度開催したため、目標値を達成した。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	少子高齢化に伴う就労人口の減少により求職者の就職率は高いため、目標値を達成できていると考えられる。
実績からR07年度の事業の方向性	令和７年度からは中小企業の労働力確保をより効率的・効果的に実施するため事業を中小企業支援事業に統合し、若者向けのジョブフェア以外にも将来的な人材確保を図る小中学生向けの新規事業を実施する。